

1. はじめに

あなたは、英語のテストで、「学校の定期テストでは高得点が取れるのに、実力テストになると点数が低い」と感じることはありませんか。

もしそうだとしたら、その原因は明白です。それは、今まで学んできた文法内容を融合した学習が不足しているからです。

例えば定期テストでは、出題される文法事項が「to 不定詞と動名詞から」などと限定されています。ですから文法単元別の学習が効果を発揮します。しかし実力テストや入試では、それまでに学んだ文法や基本構文が文の中に織り混ぜられて出てきます。

もちろんその英文の1つ1つに「これは比較級の構文です」などと注釈が入っているわけではありません。ですからあなた自身がそれぞれの文について、今までに学んだ文法事項や基本構文を思い出しながら読解していくことが大切です。そしてその力をつけるには、文法単元別の学習でなく、別の角度から総合的に学ぶのが効果的です。

本書はそのような観点から作られており、これで学べば英語の名人Ⅰ、Ⅱの復習から入試英語のレベルまで学力がアップします。

先生の指示に従ってぜひ本書をやりとげ、英語力をアップさせて下さい。

2. 本書の特長と使い方

(1) 英語の名人Ⅰ、Ⅱの範囲を超えた重要文法のマスター

第1部では、英文の骨格となる5文型の理解から、さらに上級の重要文法事項を学習します。

(2) 英語の名人Ⅰ、Ⅱの基礎を使いこなせるようにする

第2部はⅠとⅡの復習編です。文法単元別の復習でなく、「単語の分類」や「動詞の役割」など今までとは別の角度から学習するので、従来の教材での学習とは違い、本物の総合力が身につきます。

学習にあたっては、右ページにあるポイントを参考にしながら、自分の力でやりとげるようにすると、より実力がアップします。

(3) 入試英語征服の為の《解法の糸口探し》を伝授

公立高校の入試問題は、教科書の範囲を超えることはないのに、なぜ難しいと感じるのでしょうか。それは1つの文中に2つの基本構文が結びついたりして文が複雑になっていたりするからです。

第3部では、このような入試英語独特の難しい表現に焦点を当て、その解法の手がかりを伝授します。これによって入試英語征服の実践力を養成し、長文読解の土台を固めます。

この第3部も、ヒントを参考にしながら自分の力でやりとげるようにすると確かな力を身につけることができます。



ポイント完全マスター！

英語の名人 III



目次

第1部 上級レベルの文法編

1	5つの文の形 ① (第1～3文型)	2
2	5つの文の形 ② (第4～5文型)	3
3	不定詞 ① (It...to ～, It... (for+人) to ～)	4
4	不定詞 ② (tell+人+to ～, 疑問詞+to ～)	5
5	不定詞 ③ (原形不定詞)	6
名人検定 ① 1 ～ 5		7
6	名詞を修飾する現在分詞	8
7	名詞を修飾する過去分詞	9
8	《主語+動詞》が名詞を修飾する	10
9	関係(つなぎ)代名詞 ① 〈主格〉	11
10	関係(つなぎ)代名詞 ② 〈目的格〉	12
名人検定 ② 6 ～ 10		13
11	仮定法 ① (if)	14
12	仮定法 ② (wish)	15
13	間接疑問文	16
名人検定 ③ 11 ～ 13		17

第2部 総合力修得編

1	単語の分類	18
【1】前後の表現で単語を選ぶ		18
【2】単語の位置を確認する		20
【3】仕上げは長文で		22
2	動詞のさまざまな役割	24
【1】現在・過去・未来		24
【2】動詞のいろいろな形		26
3	いろいろな文(不定詞, 比較, その他)	30
【1】基本文のポイントをつかむ		30
【2】基本文の語順を理解する		32
【3】対話の中の基本文		32
【4】基本文の応用		34
4	疑問文とその答え方	36
【1】返事から質問を考える		36
【2】並べかえ		38
【3】疑問文に正しく答える		40
【4】疑問文を作る		40
5	英語特有の表現	42
【1】いろいろな答え方		42
【2】慣用表現を完成する①		46
【3】慣用表現を完成する②		46

第3部 入試対策編

1	基本構文+基本構文	48
2	想像力をはたらかせる	52
3	類似表現を区別する	56
4	日本語に惑わされる表現	60

がんばれ！
もう少しで
英語の名人よ！



チャレンジ ()内の単語を並べかえ、日本文にあう英文を作りなさい。

- ① ケンは速く走る。(fast / Ken / runs)

第1文型

- ② 彼女は先生です。(a / is / teacher / she)

第2文型

- ③ 私は彼女の名前を知っています。(her / I / know / name)

第3文型



()内の単語を並べかえ、日本文にあう英文を作りなさい。また、何文型かもく > 内に記入しなさい。

- ① 私はいつも冬にスキーをします。(winter / I / ski / in / always)

第< >文型

- ② 彼女の兄は有名な医者になりました。(became / doctor / brother / a / famous / her)

第< >文型

- ③ 私の妹は彼の名前を知っています。(name / my / his / knows / sister)

第< >文型

まとめ

英語には5つの文の形があり、これを5文型という。5文型は、文の要素となるS(主語)、V(動詞)、O(目的語)、C(補語)の組み合わせによって分類される。

(1) 第1文型 S+V 「…は～する」

【例】 Birds fly in the sky. (鳥は空を飛びます)

S

V

M*

*Mは修飾する言葉で文型とは関係がない。

(2) 第2文型 S+V+C 「…は～です」

補語は主語の様子を補足説明する語で「主語＝補語」の形となる。

【例】 He is a kind boy. (彼は親切な少年です)

S

V

M

C

(He = boy)

また be 動詞以外の look, become, feel などの一般動詞が入る場合も主語＝補語の関係となる。

【例】 He looks happy. (彼は幸せそうに見える)

S

V

C

(He = happy)

(3) 第3文型 S+V+O 「…は～を～する」

目的語は主語とは＝の関係にはならない。

【例】 He studies English. (彼は英語を勉強する)

S

V

O

(He ≠ English)

チャレンジ

()内の単語を並べかえ、日本文にあう英文を作りなさい。

- ① お母さんは私に新しい自転車を買ってくれました。

(me / new / my / bought / mother / a / bike)

第4文型

- ② 私は私の猫をミケと呼びます。(Mike / I / cat / call / my)

第5文型



()内の単語を並べかえ、日本文にあう英文を作りなさい。また、何文型かもくゝ内に記入しなさい。

- ① 彼らは私たちにおもしろい話をしてくれました。

(story / an / us / they / interesting / told)

第くゝ文型

- ② 両親は私にゆき子と名づけました。(me / my / Yukiko / parents / named)

第くゝ文型

- ③ 母は私にケーキを作ってくれました。(a / my / cake / for / made / mother / me)

第くゝ文型

まとめ

- (1) 第4文型 S+V+O+O「…は―に―を～する」

1つ目の目的語は(人に)、2つ目の目的語は(ものを)という意味で使う。

【例】 I gave her a present. (私は彼女にプレゼントをあげた)
 S V O(人) O(もの)

《参考》第3文型への書き換え

前置詞の to や for を使って第3文型にすることができる。

【例】 I gave a present to her.
 S V O M

- ・ to を使う動詞 … give (与える), teach (教える), tell (話す) など
- ・ for を使う動詞 … make (作る), call (呼ぶ), buy (買う) など

- (2) 第5文型 S+V+O+C

第5文型の動詞には call (―を～と呼ぶ), name (―を～と名づける), make (―を～(の状態)にする) などがよく使われる。目的語と補語は=の関係である。

【例】 I call him Ken. (僕は彼をケンと呼びます)
 S V O C (him = Ken)

【例】 Birds make me happy. (鳥たちは私を幸せにしてくれる)
 S V O C (me = happy)

日本語と同様に英語にもさまざまな品詞の単語がありますが、あなたは品詞を区別できますか。品詞がわかると文中での役割がわかり、並べかえの問題ではその語の位置さえ類推できます。単語を覚えるときは、ただ漠然と覚えるのではなく、その単語の性質も知った上で覚えるようにしましょう。



チャレンジ

品詞を区別する

上の日本文の意味になるように、() に適語を入れなさい。また、その品詞として当てはまるものを [] 内から選び、○で囲みなさい。

- (1) ジムは10年前学校の英語の先生でした。 [名詞 動詞 助動詞]
Jim () an English teacher at school ten years ago.
- (2) 今回、あなたは初めてこの国を訪問したのですか。 [動詞 形容詞 名詞]
Is this your first () to this country?
- (3) あなたは毎日放課後何をしますか。 [名詞 接続詞 動詞]
What do you () after school every day?
- (4) メアリーは夕食前に宿題をしなければなりません。 [動詞 助動詞 接続詞]
Mary () do her homework before dinner.
- (5) 外国を訪問することはとても興味深いです。 [形容詞 副詞 前置詞]
Visiting foreign countries is very () .
- (6) 私は世界中からのペンフレンドがほしいです。 [動詞 形容詞 前置詞]
I want pen pals () all over the world.

1

前後の表現で単語を選ぶ

次の英文の() に当てはまる単語を下のア～エから選び、その記号を○で囲みなさい。

- (1) I am () when the warm season comes.
ア fun イ happy ウ enjoy エ interesting
- (2) My () subject is science.
ア favorite イ well ウ like エ love
- (3) Some day I will go to America to () music.
ア study イ good ウ be エ famous
- (4) I won't go to today's meeting () I have to go home soon.
ア to イ because ウ busy エ can't
- (5) Computers are one of the most () things in our life.
ア use イ useful ウ quickly エ help

※以下のページで、**ルール** とあるのは問題を解く上で大切なこと、忘れてはいけないことをまとめたものです。また **参考** とは、いっしょに覚えておきたい重要事項のことです。

チャレンジ 品詞を区別する

- (1) 主語には基本的に動詞が続く。ここでは be 動詞の過去形が入る。
- (2) 「訪問した」という日本語から動詞を連想するが、「これは初めての訪問ですか」が基本文だとわかる。

参考 visit と同様に、動詞と名詞の2つの品詞が同じ形の語としては stay [(動) 滞在する, (名) 滞在] などがある。

- (3) do you のあとには動詞の原形がくる。

ルール 1 do, does, did を使ったときにはあとの動詞は原形である。

- (4) 「～しなければならない」は後ろに動詞の原形を従え、動詞に意味を付け加える。

ルール 2 助動詞の後ろには〈動詞の原形〉がくる。

- (5) be 動詞に続く言葉の品詞は何かと考える。
- (6) 「～時から」など時間を表すときにも使われる。

1 前後の表現で単語を選ぶ

- (1) fun は「楽しみ」という意味の名詞。したがって I am のあとにはこない。

参考 enjoy は「楽しむ」という動詞。日本語の「楽しい」を英語にする場合、この2つを使いわけなければならない。

- (2) () には subject を修飾する形容詞が入る。
- (3) () には〈動詞の原形〉が入り、「～するために」の意味になる。
- (4) 「私は今日の集まりに行くつもりはありません」と「私はすぐに家に帰らなければなりません」の2文を結びつけるのは接続詞である。

ルール 3 接続詞の位置 Because A, B または B because A (A なので B である)

- (5) 「コンピュータは一番～なもののひとつです」と考えれば動詞は入らないことがわかる。

ルール 4 most は形容詞か副詞の最上級を作るときに使う。

入試には〈英語力〉もさることながら、〈想像力〉が試される問題も少なくありません。それは純粋な英語力だけでは解けない問題であっても、想像力を使えば楽に解ける問題を指します。そして、そのヒントは前文であることもあれば、直前の単語であることもあります。『木を見て森を見ず』ということわざがありますが、細部のみにこだわらず常に全体を見て判断するようにしましょう。

【1】次の（ ）に当てはまる語句を下から選び、その記号を○で囲みなさい。

ポイント p.55 へ

(1) I enjoyed the game very much. It was () .

ア a lot of fun イ very kind ウ too old エ very sorry

(2) I have two pens here. () one do you want to use?

ア How イ Why ウ Who エ Which

(3) A : Excuse me. Where is the station?

B : Can you see that tall hospital? () left there. You will see the station on your right.

ア Turn イ Have ウ Find エ Wait

(4) I think baseball is () than basketball.

ア exciting イ very exciting
ウ more exciting エ the most exciting

(5) I helped a man from India. He wanted to go to a computer company*.
So I () him to the company.

ア told イ took ウ went エ got

* company 会社

(6) This story () five years ago.

ア is writing イ was writing ウ is written エ was written

(7) This isn't his first visit to Canada. He () there before.

ア didn't visit イ has been ウ lives エ knows

(8) I couldn't hear him. So I said to him, "Please speak () ."

ア together イ louder ウ the language エ faster

【2】次の対話が成り立つように（ ）に当てはまる単語を書きなさい。

(1) A : What is that big building?

B : It is a new () . I hear about 50 doctors work there.

(2) A : How many () have you been to Australia?

B : I've been there once. I went there with my friends last year.